

2018年7月実施

第5回

地方公会計 検定[®]

② 級 問 題

注 意 事 項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までにすませてください。

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてかばん等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
・電卓（基準に適合したものに限り） ・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォンや携帯電話等通信機器を使用することは認めません。（時計代わり又は電卓としての使用も不可） 電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正行為とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正行為と認められた場合には、直ちに退出を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分間）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問を掲載**しており、**1頁から15頁まで印刷**しています。
試験監督員の指示に従い、各頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退出可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退出可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 地方公会計研究センター

地方公会計  検定[®] は、一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会の登録商標です

問題 1 次のア～オの取引が1会計年度に行われた取引であったと仮定したときに、当該会計年度の純資産変動計算書に最終的に与える影響額の純額を計算しなさい。なお、影響額を算定する際には、行政コスト計算書において集計される純行政コストも純資産変動計算書に影響を与える点に留意すること。

ア. 国より地方特例交付金として 50,000,000 円受け取った。

イ. 損害賠償金として 15,000,000 円を支出した。

ウ. 満期まで所有する意図をもって甲債券 7,500,000 円を保有している。決算にあたり、時価を調査したところ、甲債券の時価は 1,500,000 円と判明した。なお、時価が回復する可能性は不明である。

エ. 収益事業収入として 4,000,000 円を受けとった。

オ. 次期に償還予定の地方債 20,000,000 円を固定区分から流動区分に振替えた。

【選択肢】

1. 13,000,000 円 2. 19,000,000 円 3. 33,000,000 円 4. 39,000,000 円 5. 50,000,000 円

問題 2 次のア～オの取引が1会計年度に行われた取引であったと仮定したときに、当該会計年度の資金収支計算書に最終的に与える影響額の純額を計算しなさい。なお、影響額を算定する際には、資金収支計算書における業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の集計額の純額である点に留意すること。

ア. 条例に基づき財政調整基金 25,000,000 円を積み立てた。

イ. 保有する物品（取得原価 8,000,000 円、減価償却累計額 7,200,000 円）を除却した。

ウ. 物品のファイナンス・リース契約を締結し、使用を開始した。当該リース契約は、所有権移転ファイナンス・リースに該当し、物品の取得原価相当額は 6,000,000 円である。

エ. 条例に基づき設定してあった減債基金（流動資産）40,000,000 円を取り崩した。

オ. 下水道特別会計に対して 5,000,000 円の資金の融通を行った。

【選択肢】

1. Δ 20,000,000 円 2. 2,000,000 円 3. 3,200,000 円 4. 4,000,000 円 5. 10,000,000 円

問題 3 次のア～オの仕訳のうち、適切なものの組み合わせの番号を1つ選びなさい（仕訳単位：円）。

ア. A市は、住民福祉を増進する目的に充てるため、甲財産区より300,000円の資金の融通を受けた。

(借) 税金等収入 300,000 (貸) 税金等 300,000

イ. B市は、バス交通事業会計に30,000,000円の出資を行った。

(借) 有価証券 30,000,000 (貸) 投資及び出資金支出 30,000,000

ウ. C市は、生活保護法に基づき25,000,000円を支出した。

(借) 補助金等 25,000,000 (貸) 補助金等支出 25,000,000

エ. D県の県立病院特別会計において、資金の不足が生じたため、一般会計より10,000,000円の資金の融通を受けた。

(借) 税金等収入 10,000,000 (貸) 税金等 10,000,000

オ. E市は、県からの補助金40,000,000円を受取り、業務活動支出の財源に25,000,000円、投資活動支出の財源に15,000,000円、それぞれ充当した。

(借) 国県等補助金収入(業務収入) 25,000,000 (貸) 国県等補助金 40,000,000

(借) 国県等補助金収入(投資活動収入) 15,000,000

【選択肢】

1. アイウ 2. アエオ 3. イウエ 4. イウオ 5. イエオ

問題 4 次のア～エの仕訳のうち、適切なものの組み合わせの番号を1つ選びなさい（仕訳単位：円）。

ア. 過年度に計上していた未収金 1,250,000 円の不納欠損が決定した。なお、徴収不能引当金の残高は 1,000,000 円である。

(借)	徴収不能引当金	1,000,000	(貸)	未収金	1,250,000
	その他の業務費用	250,000			

イ. 物品のファイナンス・リース契約を締結し、使用を開始した。当該リース契約は、所有権移転ファイナンス・リース（取得原価相当額 5,000,000 円）に該当する。

(借)	物件費	5,000,000	(貸)	物件費等支出	5,000,000
-----	-----	-----------	-----	--------	-----------

ウ. F市では期末現在、連結対象団体である甲法人についての出資金 7,000,000 円を計上している。甲法人の出資金については市場価格が存在しない。決算にあたり、甲法人の財政状態を調査し、出資金の実質価額を算定したところ、1,200,000 円であることが判明した。決算にあたり適切に処理する。

(借)	投資損失引当金繰入額	1,200,000	(貸)	投資損失引当金	1,200,000
-----	------------	-----------	-----	---------	-----------

エ. G市では、満期まで所有する意図をもって甲債券を保有している（償却原価 900,000 円）。決算にあたり、市場価格を調査したところ、甲債権の市場価格は 200,000 円であった。市場価格が回復する見込みは不明である。決算にあたり適切に処理する。

(借)	その他臨時損失	700,000	(貸)	有価証券	700,000
-----	---------	---------	-----	------	---------

【選択肢】

1. アイ 2. イウ 3. アエ 4. イエ 5. ウエ

問題 5 統一的な基準を前提として、地方公会計に関する次のア～オの記述のうち、適切なものの組み合わせの番号を1つ選びなさい。

- ア. 退職給与の会計上の基本的性格は、労働の対価として支払われる賃金の後払いであるといえ、基本的に勤務期間を通じた労働の提供に伴って発生する。
- イ. 退職給与は、その発生が当期以前の事象に起因する将来の特定の費用的支出であり、当期の負担に属すべき金額は、その支出の事実に基づくことなく、その支出原因または効果の期間帰属に基づいて費用として認識する。
- ウ. 損失補償等引当金は、履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体財政健全化法上、将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上する。なお、履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、貸借対照表に計上した額を除く損失補償債務等については偶発債務として注記が必要となる。
- エ. 損失補償契約に基づき履行すべき額が確定したものについても、貸借対照表上、損失補償等引当金として計上しなければならない。
- オ. 徴収不能引当金は、債権全体または同種・同類の債権ごとに、債権の状況に応じて求めた過去の徴収不能実績率など合理的な基準により算定し、貸借対照表上、流動負債の区分に表示される。

【選択肢】

1. アイウ 2. アイエ 3. アウエ 4. イウエ 5. ウエオ

問題 6 統一的な基準を前提として、地方公会計に関する次のア～オの記述のうち、適切なものの組み合わせの番号を1つ選びなさい。

- ア. 市場価格のある有価証券について、市場価格が著しく下落した場合には、回復する見込みがあると認められる場合を除き、市場価格をもって貸借対照表に計上し、評価差額は資産評価差額として純資産変動計算書に計上する。有価証券の市場価格の下落率が30%以上である場合には著しく下落した場合に該当する。
- イ. 地方公共団体が発行した地方債のうち、償還予定が1年超のものは固定負債に表示し、1年以内に償還予定のものは流動負債に表示する。
- ウ. 長期延滞債権は、滞納繰越調定収入未済の収入等をいう。貸借対照表上、投資その他の資産に表示される。
- エ. 歳計外現金は、資金収支計算書上の資金の範囲には含まれるが、貸借対照表上の現金預金には含まれない。
- オ. 基金は、地方公共団体が条例の定めるところにより、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立てて設けられるものであり、会計上は流動資産または固定資産の区分に表示される。

【選択肢】

1. アイウ 2. アイエ 3. イウエ 4. イウオ 5. ウエオ

問題 7 地方公共団体の所有に属さない現金を歳計外現金（歳入歳出外現金）という。具体的には、地方公共団体職員の給与に係る源泉所得税や住民税、公営住宅の敷金等が該当する。統一的な基準を前提として、以下の[資料]のみを考慮した場合、貸借対照表における現金預金、行政コスト計算書における職員給与費、資金収支計算書上における歳計外現金増減額の適切なものの組み合わせの番号を1つ選びなさい。

〔資料〕

1. 職員に対して給与 600,000 千円を支給した。その際、源泉所得税等として 108,000 千円を徴収した。
2. 上記、給与支払い直前に保有する貸借対照表上の現金預金の残高は 2,550,000 千円であった。
3. 徴収した源泉所得税等につき、納付は未だ行っていない。
4. 資料より判明する事項以外は考慮しない。

【選択肢】

	貸借対照表における 現金預金	行政コスト計算書における 職員給与費	資金収支計算書上における 歳計外現金増減額
1.	1,842,000 千円	492,000 千円	108,000 千円
2.	1,950,000 千円	708,000 千円	492,000 千円
3.	1,950,000 千円	600,000 千円	108,000 千円
4.	2,058,000 千円	492,000 千円	492,000 千円
5.	2,058,000 千円	600,000 千円	108,000 千円

問題 8 次の〔資料〕に基づいて、X4年度のA市の行政コスト計算書における徴収不能引当金繰入額として正しい金額の番号を1つ選びなさい。なお、資料から判明する事項以外は考慮しないものとする。

〔資料〕

1. A市では、過去の徴収不能実績率を用いて、徴収不能引当金を設定している。
2. 下記が決算にあたり作成した資料であり、徴収不能実績率(当年度を含めた4年分の前年度末債権残高に対する不納欠損の発生割合)を求め、決算における徴収不能引当金を設定する。

	前年度末債権残高	不納欠損決定額
X1年度	412,000千円	20,500千円
X2年度	398,000千円	23,700千円
X3年度	377,000千円	20,620千円
X4年度	463,000千円	22,630千円

3. A市におけるX4年度末の債権残高は、400,000千円であった。
4. 決算整理前残高試算表における徴収不能引当金残高は1,150千円であった。

【選択肢】

1. 20,050千円 2. 21,200千円 3. 22,350千円 4. 23,500千円 5. 24,650千円

問題 9 次の【資料】に基づいて、B市における当期の貸借対照表における退職手当引当金として正しい金額の番号を1つ選びなさい。なお、資料から判明する事項以外は考慮しないものとする。

【資料】

1. B市では、退職手当引当金について、期末自己都合要支給額により算定することとしている。
2. 前期末在職者に係る自己都合要支給額は456,500千円であった。
3. 当期末在職者に係る自己都合要支給額は478,000千円であった。

【選択肢】

1. 0千円 2. 21,500千円 3. 456,500千円 4. 478,000千円 5. 934,500千円

問題 10 次の【資料】に基づいて、当期の貸借対照表における賞与等引当金として正しい金額の番号を1つ選びなさい。なお、資料から判明する事項以外は考慮しないものとする。

【資料】

1. 当期はX7年4月1日からX8年3月31日の1年間である。
2. X8年6月支給予定の期末手当・勤勉手当総額は54,000千円である。
3. X8年6月支給予定の期末手当勤・勉手当にかかる法定福利費相当額は5,400千円である。
4. X8年6月支給予定の期末手当等の支給対象期間はX7年12月からX8年5月までの6か月間である。
5. 賞与等の計算にあたっては、月割計算による。

【選択肢】

1. 18,000千円 2. 19,800千円 3. 36,000千円 4. 39,600千円 5. 54,000千円

問題 11 次の所有権移転ファイナンス・リース取引に関する【資料】に基づいて、X2 年度末におけるリース債務残高として正しい金額の番号を 1 つ選びなさい。なお、計算上生じる端数は円未満四捨五入すること。

【資料】

1. 解約不能のリース期間：4 年
2. リース取引開始日：×1 年度期首
3. リース料：年額 31,515 千円（各年度末に 1 年分を後払い）
総額 126,060 千円
4. リース物件の取得原価相当額：120,000 千円
5. 利率：年 2%（利息相当額の総額は利息法により各期に配分する）
6. リース物件の経済的耐用年数：4 年
7. 借手の減価償却方法：定額法（残存価額はゼロ）

【選択肢】

1. 56,970 千円 2. 61,188 千円 3. 88,485 千円 4. 90,885 千円 5. 94,545 千円

問題 12 地方公会計における固定資産に関する次のア～オの記述のうち、適切なものの組み合わせの番号を 1 つ選びなさい。

- ア. 耐用年数の異なる資産は、原則として、別個の資産として登録しなければならない。これは、建物本体と建物附属設備においても同様である。
- イ. 既存の償却資産に対して行った資本的支出については、その支出価額を固有の取得価額として、既存の償却資産の残存耐用年数にわたり減価償却を行う。
- ウ. 途中で用途変更があった場合は、用途変更前の法定耐用年数から経過年数を控除した年数を用途変更前の法定耐用年数で除した割合に用途変更後の法定耐用年数を乗じ、それに経過年数を加算した年数を用途変更後の耐用年数とすることができる。
- エ. 陳腐化や腐食により使用可能期間が著しく短くなった場合には使用可能期間をもって耐用年数とすることができるが、当該資産の製作法が同種の他の資産と著しく異なり使用期間が著しく短いときは、使用可能期間をもって耐用年数とすることはできない。
- オ. 償却資産について、耐用年数を経過した後においても存する場合は、原則として備忘価額 1 円を計上するが、無形固定資産については、備忘価額は計上しない。

【選択肢】

1. アイエ 2. アイオ 3. アウオ 4. アエオ 5. イウオ

問題 13 下記の【資料】に基づいて、当会計期間における備品（物品）の減価償却費として正しいものの番号を1つ選びなさい。なお、当会計期間は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までである。

【資料】

1. Q市では、平成30年4月1日に中古の備品を1,500,000円で取得した。当該備品の法定耐用年数は15年、Q市が取得するまでの経過年数は5年である。
2. 当該備品については、耐用年数を合理的に見積もることが困難なため、簡便法により耐用年数を算定するものとする。
3. 定額法の償却率は、次のとおりである。なお、当該備品については、当会計期間より減価償却を行うものとする。

耐用年数	8年	10年	11年	12年	15年
償却率	0.125	0.100	0.091	0.084	0.067

【選択肢】

1. 100,500円 2. 126,000円 3. 136,500円 4. 150,000円 5. 187,500円

問題 14 下記の【資料】に基づいて、当会計期間末における備品（物品）の帳簿価額として正しいものの番号を1つ選びなさい。なお、当会計期間は、平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）である。

【資料】

1. R市では、平成26年10月1日に2,400,000円で備品を取得した。当該備品につき、翌年度から定額法により減価償却を行う。なお、当該備品の当初の耐用年数は8年であった。
2. 平成29年度末（平成30年3月31日）に当該備品につき耐用年数の見直しを行った結果、耐用年数が10年と見積もられ、期末からの残存年数を5年から7年に変更することにした。なお、当該変更に基づく減価償却は翌年度から行う。
3. 耐用年数7年の償却率は0.143、耐用年数8年の償却率は0.125、耐用年数10年の償却率は0.100である。

【選択肢】

1. 1,028,400円 2. 1,080,000円 3. 1,156,950円 4. 1,285,500円 5. 1,350,000円

問題 15 次の文章のアからオについて使用しない語句が1つある。該当する番号を1つ選びなさい。

重要な会計方針を変更した場合には、次に掲げる事項を「重要な会計方針」の次に記載しなければならない。

- (1) (ア) の原則または手続を変更した場合には、(イ)、(ウ) 及び当該変更が (エ) に与えている影響の内容
- (2) (オ) を変更した場合には、(イ)
- (3) 資金収支計算書における資金の範囲を変更した場合には、(イ)、(ウ) 及び当該変更が資金収支計算書に与えている影響の内容

【選択肢】

1. 会計方針
2. 財務書類
3. その旨
4. 表示方法
5. 変更の理由

問題 16 次のア～オの原則のうち、連結財務諸表作成における一般原則に該当しないものの番号を1つ選びなさい。

- ア. 真実性の原則
- イ. 正規の簿記の原則
- ウ. 明瞭性の原則
- エ. 継続性の原則
- オ. 個別財務諸表基準性の原則

【選択肢】

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

問題 17 次の【資料】に基づいて連結財務諸表を作成した場合、×2年3月31日時点の連結貸借対照表における非支配株主持分の金額として正しいものの番号を1つ選びなさい。なお、問題文から判明する事項以外は考慮しないものとする。

【資料】

1. ×1年3月31日に、P社はS社の発行済議決権付株式の60%を48,000千円で取得した。同日におけるP社及びS社の貸借対照表は、次のとおりである。

P社 貸借対照表 (単位：千円)				S社 貸借対照表 (単位：千円)			
諸資産	792,000	諸負債	360,000	諸資産	140,000	諸負債	65,000
S社株式	48,000	資本金	300,000			資本金	50,000
		利益剰余金	180,000			利益剰余金	25,000
	<u>840,000</u>		<u>840,000</u>		<u>140,000</u>		<u>140,000</u>

2. ×2年3月期の各社の当期純利益は、P社が30,000千円、S社が5,000千円である。

【選択肢】

1. 30,000千円 2. 32,000千円 3. 48,000千円 4. 58,000千円 5. 63,000千円

問題 18 地方公会計において連結対象団体（会計）となる次のア～オのうち、原則として全部連結の対象になるものの組み合わせとして適切な番号を1つ選びなさい。

- ア. 地方公営事業会計
- イ. 地方独立行政法人
- ウ. 一部事務組合・広域連合
- エ. 地方三公社（土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社）
- オ. 出資割合が50%超の第三セクター

【選択肢】

1. アイエ 2. アイオ 3. アエオ 4. アイウエ 5. アイエオ

問題 19 次の文章のアからオについて使用しない語句が1つある。該当する番号を1つ選びなさい。

連結貸借対照表においては、固定資産の額に流動資産における（ ア ）及び（ イ ）を加えた額を（ ウ ）に記載し、（ エ ）を連結純資産変動計算書から転記したうえで、純資産額からこれらをあわせた額を差し引いた額を（ オ ）に記載する。

また、連結純資産変動計算書においては、連結貸借対照表における（ ウ ）及び（ オ ）の額を転記し、本年度末純資産変動額には、転記されたそれぞれの額から前年度末の残高を差し引いた額を記載する。

【選択肢】

1. 基金等
2. 固定資産等形成分
3. 他団体出資等分
4. 投資及び出資金
5. 余剰分（不足分）

問題 20 地方公会計における連結相殺消去仕訳に関する次のア～オの記述のうち、不適切なものの番号を1つ選びなさい。なお、資金移動額については、考慮しなくてよい。

- ア. 投資と資本の相殺消去にあたり、出資を受けた側は、貸借対照表の「純資産の部」を減額する。
- イ. 貸付金・借入金等の債権債務の相殺消去にあたり、貸し付けた側は、貸借対照表の「長期貸付金」または「短期貸付金」を減額する。
- ウ. 補助金支出と補助金収入の相殺消去にあたり、補助を受けた側は、純資産変動計算書の「国県等補助金」を減額する。
- エ. 会計間の繰入れ・繰出しの相殺消去にあたり、繰入れた側は、純資産変動計算書の「税金等」を減額する。
- オ. 委託料の支払いと受取りの相殺消去にあたり、受託した側は、行政コスト計算書の「物件費」を減額する。

【選択肢】

1. ア 2. イ 3. ウ 4. エ 5. オ

問題 21 次の【資料】に基づいて、連結財務書類作成に際して行われる連結相殺消去仕訳として、適切なものの番号を1つ選びなさい。

【資料】

Y市では、一般会計から下水道特別会計に対して、保有している土地（帳簿価額 150 百万円）を 120 百万円で譲渡した。

（仕訳単位：百万円）

ア. (借)	土	地	30	(貸)	資 産 除 売 却 損	30
	公共施設等整備費支出		120		資 産 売 却 収 入	120
イ. (借)	土	地	30	(貸)	資 産 除 売 却 損	30
	資 産 売 却 収 入		120		公共施設等整備費支出	120
ウ. (借)	資 産 除 売 却 損		30	(貸)	土	地
	公共施設等整備費支出		120		資 産 売 却 収 入	120
エ. (借)	資 産 除 売 却 損		30	(貸)	土	地
	資 産 売 却 収 入		120		公共施設等整備費支出	120
オ. (借)	資 産 売 却 益		30	(貸)	資 産 除 売 却 損	30
	公共施設等整備費支出		120		資 産 売 却 収 入	120

【選択肢】

1. ア 2. イ 3. ウ 4. エ 5. オ

問題 22～25

次の〔資料〕に基づいて、Z市の当期の財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）を作成した場合、以下の設問（問題 22～25）に答えなさい。
なお、資料から判明しない事項については、考慮しなくてよい。

〔資料〕

1. 当期中の収入の内訳は、次のとおりである。

税金による収入 1,450 百万円

（うち、前期に未収計上したものの徴収額が 58 百万円ある。また、当期に賦課決定（調定）した税金等は 1,428 百万円であり、一旦未収金として処理している。）

使用料及び手数料による収入 218 百万円

受取利息による収入 3 百万円

国・県からの補助金による収入 287 百万円（投資活動に係るもの）

資産の売却による収入 212 百万円

（保有する土地（帳簿価額 220 百万円）を売却した際の収入である。）

地方債の発行による収入 218 百万円

寄附金による収入 69 百万円

2. 当期中の支出の内訳は、次のとおりである。

人件費に係る支出 944 百万円

（うち、賞与等引当金の取崩しによる支払額が 143 百万円ある。）

物件費に係る支出 448 百万円

支払利息に係る支出 47 百万円

補助金に係る支出 34 百万円

社会保障給付に係る支出 313 百万円

繰出金に係る支出 72 百万円

損害賠償金に係る支出 20 百万円

土地の取得に係る支出 284 百万円

災害復旧事業費に係る支出 45 百万円

基金の積立てに係る支出 27 百万円

地方債の償還に係る支出 230 百万円（元本部分）

3. 当期中の上記以外の取引は、次のとおりである。

(1) 建物につき減価償却費を 32 百万円計上する。

(2) 賞与等引当金 147 百万円を計上する。

(3) 保有する A 債券（満期保有目的有価証券）につき、市場価格が著しく下落したため、46 百万円の強制評価減を行う。

(4) 保有する B 債券（満期保有目的以外の有価証券、帳簿価額 73 百万円）につき、期末時価 59 百万円に評価替えを行う。

(5) 歳計外現金の当期首残高は 27 百万円、当期末残高は 29 百万円である。

4. 前年度末の貸借対照表は、次のとおりである。

貸借対照表

(単位：百万円)

固定資産		固定負債	
土地	1,927	地方債	2,185
建物	1,846	流動負債	
減価償却累計額	△625	1年内償還予定地方債	230
有価証券	297	賞与等引当金	143
基金	184	預り金	27
流動資産		純資産	1,288
現金預金	186		
未収金	58		

問題 22 貸借対照表における現金預金の金額として、正しいものの番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 177 百万円 2. 179 百万円 3. 181 百万円 4. 184 百万円 5. 208 百万円

問題 23 貸借対照表における純資産の金額として、正しいものの番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,264 百万円 2. 1,266 百万円 3. 1,282 百万円 4. 1,295 百万円 5. 1,298 百万円

問題 24 行政コスト計算書における純行政コストの金額として、正しいものの番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,723 百万円 2. 1,737 百万円 3. 1,760 百万円 4. 1,792 百万円 5. 1,806 百万円

問題 25 資金収支計算書における業務活動収支の金額として、正しいものの番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. △183 百万円 2. △163 百万円 3. △138 百万円 4. △136 百万円 5. △118 百万円